



21西尾

21世紀にかける西尾市民会議 〈2020.6.22〉 No.140



中村市長
当初の公約は
どうしちゃったの??

No.140

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

のりこ & のりゆきの辛口議会だより

熊さん 「ご隠居さん、市長は結局、SPCからの市に対する増加費用訴訟の判決に對して控訴しないで、受入れてしまつたね。」

「それだけじゃない。判決が支払を命じた平成29年分以外の平成30年分や令和1年分（1億4千万円）も、市長は支払てしまおうと考えているらしいよ。」

「ええつ。市民の多くは、市長が、この4月に支払つた3500万円で、PFI問題全体が片付いたと思つてるぜ！」

「いやいや、それは大間違いさ。判決は、吉良支所棟の工事の中止によつて余分にかかつた費用や一色庁舎の仮囲いの費用の、それも29年度分に限つて判断していいのだからね。」

「PFI事業見直し交渉の、それもごく一部でしかないつてことか。」

「そう、思い出してごらんよ。3年前、中村市長が当選した選挙では『PFI事業は凍結して全面的に見直す』と公約している。」

「西尾市方式PFI契約の実体が、『200億円30年契約を1社だけと結ぶ』内容のいわば『官製談合』の塊だつたからだ！」

「そう。民間のノウハウで安価でいいモノができるなんて宣伝文句は嘘つぱち。市が直営で事業を行つよりも高額になつてしまつことが、この2年間で改めてハッキリした。見直さなければ、市や市民が大損をする内容だ。」

「だからこそ、見直しをしなければならないんだね。」

「ところが、増加費用の訴訟で、裁判所が出したのは、かなり大幅に見直してくれることで、市長が控訴しなかつたことで、SPCに、市長が『見直しをSPC寄りの判決だ。だから、市長が控訴しなかつたことで、SPCに、市長が『見直しをしまつた。』といふ期待を持たせてしまつた。」

「ところが、増加費用を支払つてしまえば、市に金錢などの要求をすることは、火を見るより明らかだ、つてえわけだ。」

「だから、見直しをしなければならないのかねえ。」

「いつたい、これからいくら払うことになるんだよオ!? SPCのいうままで、金を無条件に払うなんて、市民から、まるで〇〇に追い銭だと言われるぜ！」

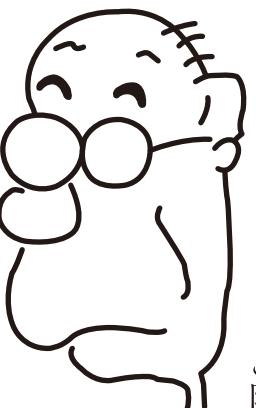
「しかも、払うのは、中村市長のポケットマネーじゃない。市民の納めた貴い税金なんだがねえ。」

「だから、辞めた前副市長も担当職員たちもみな、控訴して、『スジの通らない金は払わない』といふ市主張を押し通すべきと諫言したんだよね。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」

ご隠居 極めていい加減な判断。酷い判決」と口を揃えてコメント。」



熊さん 「この上に、何の条件もつけずに市長が平成30年分や令和2年分の増加費用を支払つてしまふますます、一色庁舎の仮囲い撤去について、市に金錢などの要求をすることは、火を見るより明らかだ、つてえわけだ。」

「有名大学法学部出身の中村市長が、そんなことも分からぬのかねえ。」

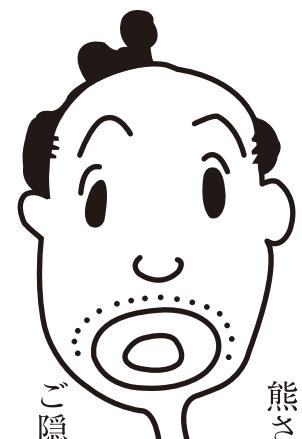
「いつたい、これからいくら払うことになるんだよオ!? SPCのいうままで、金を無条件に払うなんて、市民から、まるで〇〇に追い銭だと言わられるぜ！」

「しかも、払うのは、中村市長のポケットマネーじゃない。市民の納めた貴い税金なんだがねえ。」

「だから、辞めた前副市長も担当職員たちもみな、控訴して、『スジの通らない金は払わない』といふ市主張を押し通すべきと諫言したんだよね。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」



熊さん 「ご隠居さん、市長は結局、SPCからの市に対する増加費用訴訟の判決に對して控訴しないで、受入れてしまつたね。」

「それだけじゃない。判決が支払を命じた平成29年分以外の平成30年分や令和1年分（1億4千万円）も、市長は支払てしまおうと考えているらしいよ。」

「ええつ。市民の多くは、市長が、この4月に支払つた3500万円で、PFI問題全体が片付いたと思つてるぜ！」

「いやいや、それは大間違いさ。判決は、吉良支所棟の工事の中止によつて余分にかかつた費用や一色庁舎の仮囲いの費用の、それも29年度分に限つて判断していいのだからね。」

「PFI事業見直し交渉の、それもごく一部でしかないつてことか。」

「そう、思い出してごらんよ。3年前、中村市長が当選した選挙では『PFI事業は凍結して全面的に見直す』と公約している。」

「西尾市方式PFI契約の実体が、『200億円30年契約を1社だけと結ぶ』内容のいわば『官製談合』の塊だつたからだ！」

「そう。民間のノウハウで安価でいいモノができるなんて宣伝文句は嘘つぱち。市が直営で事業を行つよりも高額になつてしまつことが、この2年間で改めてハッキリした。見直さなければ、市や市民が大損をする内容だ。」

「だからこそ、見直しをしなければならないんだね。」

「ところが、増加費用の訴訟で、裁判所が出したのは、かなり大幅に見直してくれることで、市長が控訴しなかつたことで、SPCに、市長が『見直しをしまつた。』といふ期待を持たせてしまつた。」

「ところが、増加費用を支払つてしまえば、市に金錢などの要求をすることは、火を見るより明らかだ、つてえわけだ。」

「しかも、払うのは、中村市長のポケットマネーじゃない。市民の納めた貴い税金なんだがねえ。」

「だから、辞めた前副市長も担当職員たちもみな、控訴して、『スジの通らない金は払わない』といふ市主張を押し通すべきと諫言したんだよね。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」

「忠臣の声を聴かぬ王は、滅ぶ」か：ああ。」

